

## [ 赤字になったら ]

法人企業の黒字率は今だに 3 割をわっています。赤字の会社が 10 件のうち 7 社から 8 社、黒字の会社は 2 社だけです。赤字は収入より支出が大きくお金が足りないことです。お金が足らなければ会社は維持できず倒産してまいります。赤字会社が 7 社も 8 社もあっても会社が潰れる会社はそんなにありません。過去に会社や個人（社長）が財産を蓄えていて取崩して補っているか、銀行から融資を受け赤字の補てんをしているかです。国も赤字会社が倒産してしまうと、国民の多くが職を失い路頭に迷い生活が困難になりますので、融資の支援をしました。経営者も、お金が足らなければ銀行へ、銀行も国の支援がある為融資をしてきました。国の保証額は増えましたが、経営者も会社が潰れず社員さんの雇用を守り、取引先にも迷惑をかけず、社長で居れます。銀行も貸付額が増加し、利息収入も増え万々歳です。会計事務所もお客様が潰れず引き続き報酬を頂けます。経営者も銀行も会計事務所も助かり三方良しです。いつまで続けられるでしょうか。最後のつけは誰が負うのでしょうか。赤字の借入はいつまでも続けられません。最後は社長の責任となるのです。倒産の原因の殆どは赤字が数年続き倒産となります。我社は、黒字か赤字かお金はあるか、それはいつでも確認出来ます。確認する為に会計（簿記）があります。日々決算、週次決算、月次決算、年次決算。日々決算なら 365 回・週次決算なら 52 回・月次決算なら 12 回・年次決算なら年 1 回確認できます。会社を倒産させることは社長（経営者）にとって最大の罪です。倒産は赤字にあります。赤字の確認は会計です。会社の責任は社長であり、つけは社長が背負います。赤字にならない為の経営をする。黒字になりお金を貯める。会計をきっちりやり、問題点を見つけ改善する。そして赤字になったら徹底して改善案を掘り出し覚悟を持って実行する。「今までどうにかなってきた。」を捨てる。今までの行動何もかも変えることが必要かと思えます。